

津曲学園

# 中期ビジョン

---

2017 ▶ 2021



## ～ 全教職員一体となって 永続可能な学園づくりを ～

学校法人津曲学園

理事長 津曲貞利

津曲学園がこの鹿児島に誕生したのは1923年(大正12年)。以来、時代とともに様々な変遷を経て、今日では、鹿児島国際大学、鹿児島国際大学大学院、鹿児島高等学校、鹿児島修学館中学・高等学校、鹿児島幼稚園を擁する南九州随一の総合学園へと大きく発展を遂げています。

この間、学園全体で約138,000人の卒業生が県内外の大学や企業等に進学・就職し、地域を担う人材として活躍してきており、現在においても中国や台湾などアジアからの留学生も含め、約4,700人もの学生・生徒・園児が本学園で学び、日々成長を遂げています。

しかしながら、学校法人を取り巻く環境は、近年の少子化の進行や厳しさを増す国の財政状況などにより、全国的に大変きびしいものがあり、大学教育改革や高大接続改革、新学習指導要領の改訂など、教育行政も大きく変化しつつあります。

また、国と地方においては、わが国が直面する地方創生・人口減少克服という構造的課題に対応するため、総力を挙げて取組を進めつつありますが、その実現のためには、これからの新しい時代の担い手となる、地域の発展に貢献できる人材の育成が重要となります。

このような状況を踏まえ、本学園におきましては、平成27年11月から、これまで培われてきた歴史や伝統、特色ある教育を踏まえつつ、今後のさらなる発展を目指すための指針となるビジョンづくりを進めてきましたが、今般、津曲学園中期ビジョン2017～2021としてまとめました。

本学園は2023年(平成35年)に創立100周年を迎えます。次の100年のあるべき姿を見据えつつ、2017年度(平成29年度)からの5年間、全教職員が本ビジョンを共有し、一体となって、永続可能な学園づくりを進めるとともに、「スチューデントファースト」をモットーに、これまで以上に園児・生徒・学生の夢の実現のために何ができるかを常に一番に考え、その成長を全力で支える学園を創ってまいりたいと考えています。

## 中期ビジョンについて

### 1. 期間

- ・ビジョンの期間は、2017～2021年度（平成29～33年度）の5年間とする。

### 2. 構成

- 基本理念 ～ 学園および各設置校がめざすべき姿，取り組む姿勢を示したもの
- 基本計画 ～ 基本理念を実現するための学園および各設置校の基本的な計画であり，基本目標を踏まえた取組の方向性などを示したもの
- 事業計画 ～ 基本計画に基づき，各設置校が基本目標実現に向けて実施する5か年の主な取組を，スケジュール，数値目標などとともに示したものの

### 3. 推進にあたっての考え方

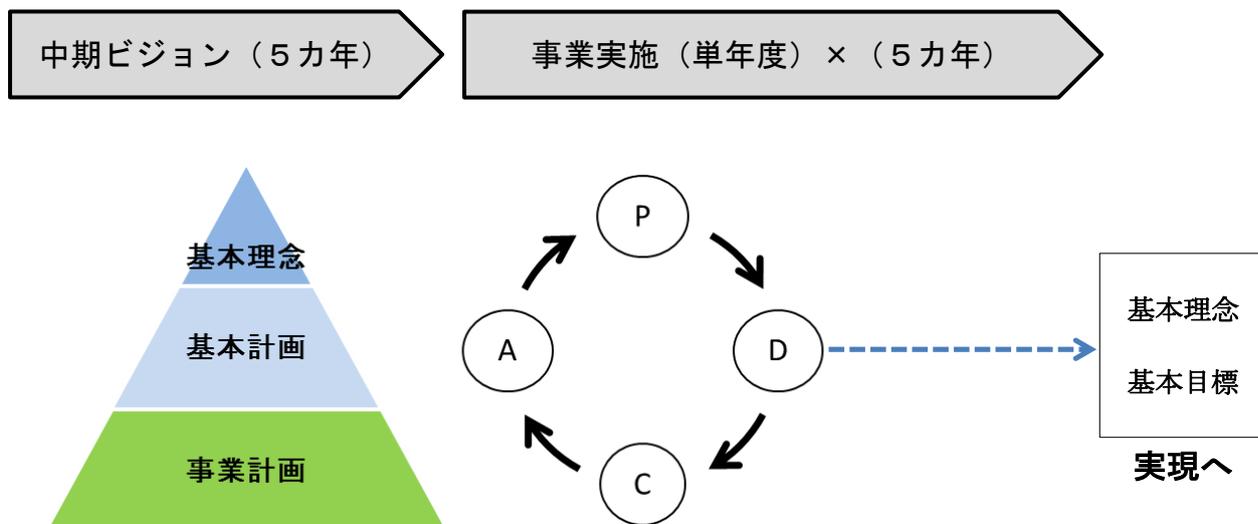
- ・今後，本ビジョンを踏まえた事業計画（単年度）を毎年作成し，実施する各事業については中間・最終評価を行った上で改善・見直しにつなげていくこととしている。

P：毎年度，事業計画（単年度）及び基本目標別の業務実施計画（単年度）を作成

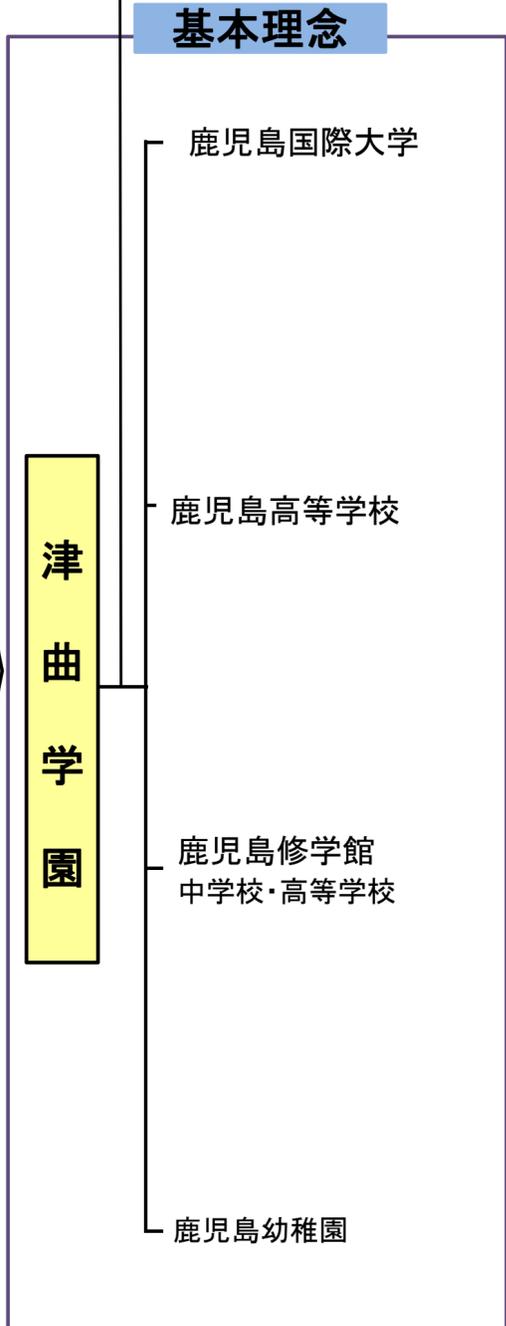
D：両計画に基づき事業実施

C：毎年度，9月末及び3月末時点における進捗状況，目標達成状況について業務実施計画をもとに中間・最終評価

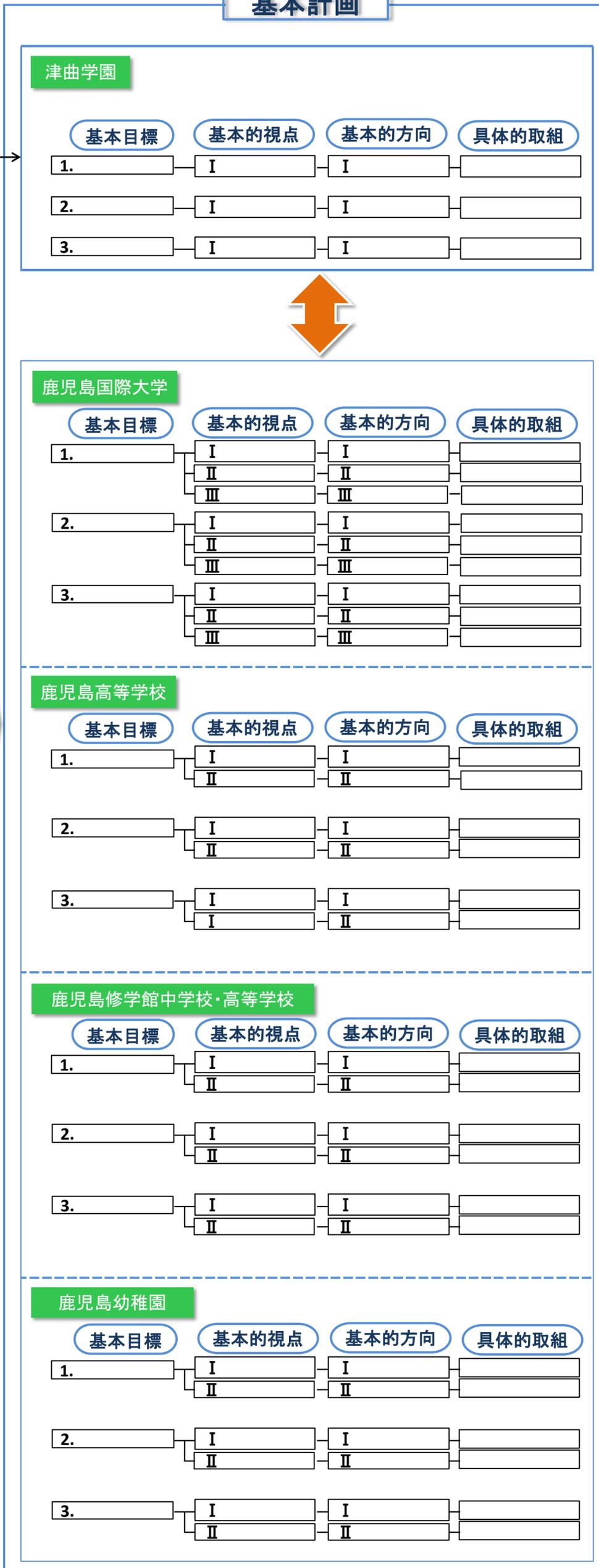
A：中間・最終評価を踏まえ，改善・見直しを実施



津曲学園建学趣旨

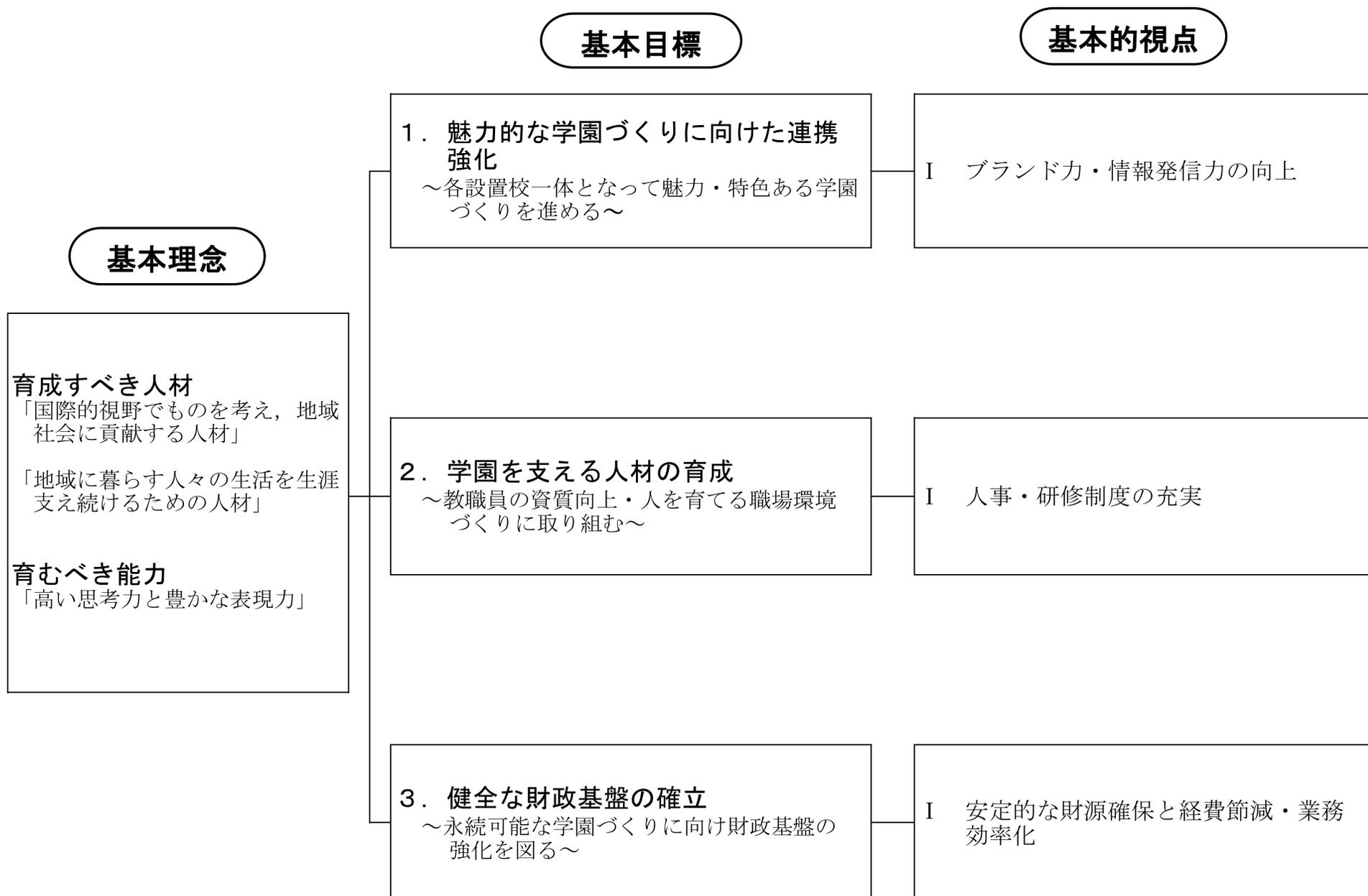


**基本計画**



※この図は、ビジョンの全体像を表すためのイメージ図です。

# 津曲学園



## 基本目標

## 基本的視点

## 基本理念

### コアミッション (大学の基本理念)

1. 国際的視野でものを考え、地域社会に貢献する人材を育成する
2. 地域に暮らす人々の生活を生涯支え続けるための人材を育成する

### 教学ミッション

「意思形成力」と「コミュニケーション能力」を向上させる取組に注力

### モットー

「スチューデントファースト」

### スローガン

「地域を支え 世界に通用する人材を創出する、誇り高き教育集団」

### 1. 地域を支える人材の輩出

～主体的に学びを拓き、問題解決力と突破力のある人材を育成する～

I フィールドワークやゼミを通じた地域課題を解決できる能力の養成

II 就業体験・各種実習等による地域社会に貢献できる人材の育成

### 2. 国際的視野を持った社会人の育成

～語学力の強化により、グローバル社会で実力を発揮する人材を育成するとともに、留学生の派遣・受入を促進する～

I グローバル社会で実力を発揮する人材の育成

II 地域特性を生かした国際化の推進

### 3. 自ら未来を拓く人材の育成

～将来を創造できる学生を育成する教育体制の構築～

I 学生の「意思形成能力」「意思伝達能力」の向上

II 社会を牽引するリーダーの育成

III FD（授業内容・方法の改善等）とSD（業務知識・技術の習得）の推進

### 4. キャンパスライフの満足度を高める多様な支援

～スチューデントファーストを実践し、学生の目標実現に向けた支援体制の一層の充実を図る～

I 学生一人ひとりへのきめ細やかな修学支援

II 安心してキャンパスライフを過ごせる生活支援と若者文化の醸成

III キャリア形成支援の充実と就職意識を向上させる進路支援

IV 安全・快適な教育研究環境づくり

### 5. 産学官連携と社会を支える学術研究の推進

～地域とともに歩み、社会に貢献し続ける大学を目指す～

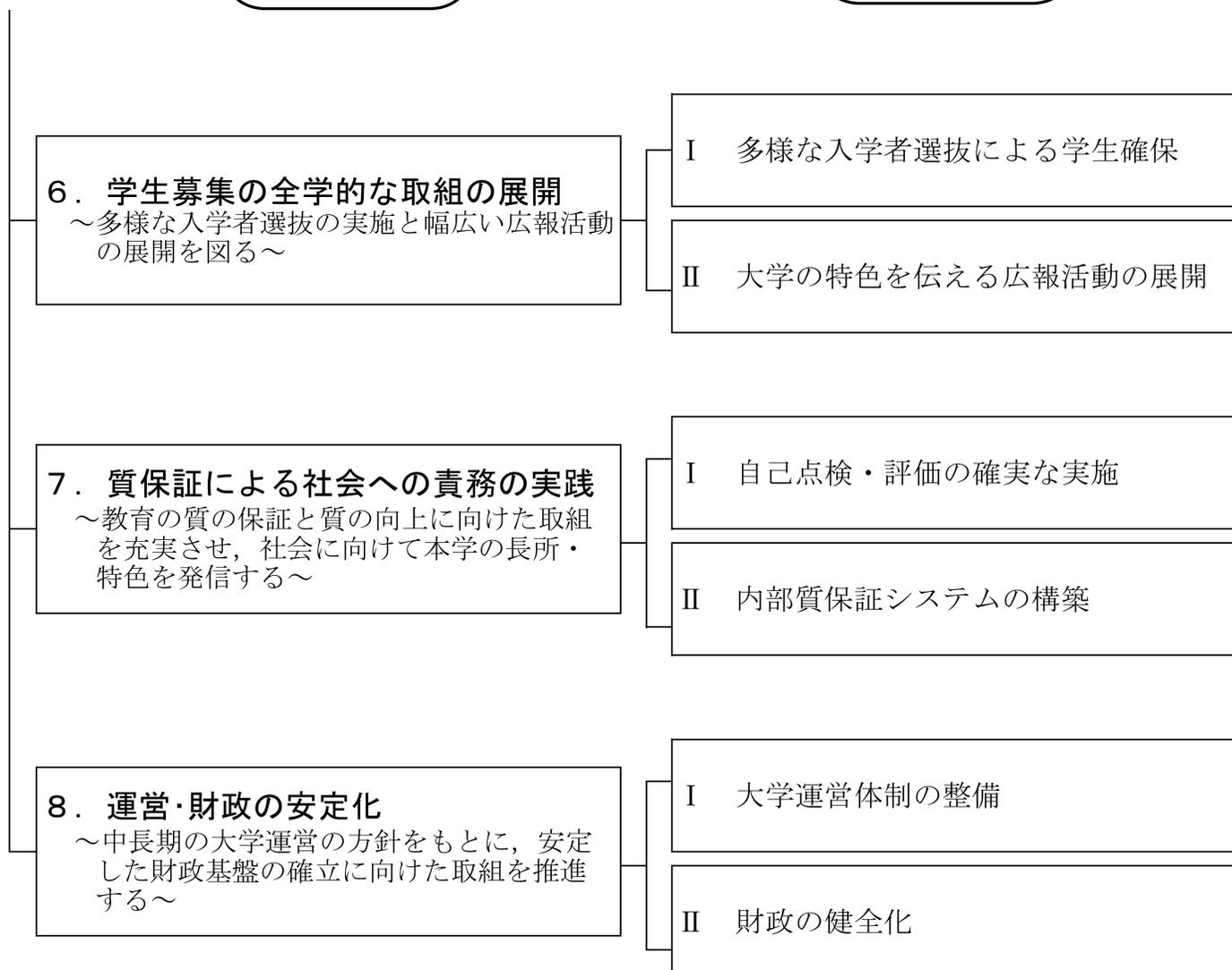
I 産・学・官・地域と連携した教育研究活動の展開

II 学術研究の奨励と研究倫理の向上

III 地域社会への地（知）の還元

## 基本目標

## 基本的視点



# 鹿児島高等学校

## 基本目標

## 基本的視点

## 基本理念

### 1530色の青春

[vision]

鹿児島県最大級の募集定員1530人の青春を預かる「鹿高」では、多彩なカラーを持って入学してくる生徒1人1人の個性と1つ1つの可能性を1日1日大切に育む。

全ての職員が高い理想を掲げて自己研鑽し、優れた専門性と指導力を身に付け、伝統的に受け継がれてきた確かな教育力と時代を踏まえた先進的な教育法を取り入れながら、「鹿高」ならではの全人教育に取り組み、高い思考力と豊かな表現力などの新時代をたくましく生き抜く力を培う。

### 1. 学校ブランド力の向上

～生徒・保護者からの満足度が高く、地域社会への貢献度が高い学校を目指す～

I 生徒・保護者からの満足度向上

II 地域社会への貢献

### 2. 先進的な教育課程の編成

～語学力・コミュニケーション能力の強化によりグローバル教育の充実を図る～

I 語学力・コミュニケーション能力の強化

II グローバル教育の充実

### 3. 未来を築く進路保証

～新しい教育制度や大学入試改革、資格取得に対応できる環境を整え、生徒たちの進路を実現する～

I 次期学習指導要領や大学入試改革への対応

II 進路実現に活用できる各種の資格取得

### 4. 三弧会・部活動のさらなる活性化

～三弧会組織の改革とともに、全国大会で活躍できる部活動を育成する～

I 三弧会組織の改革

II 全国大会で活躍できる部活動の育成

### 5. 生徒募集の強化

～安定した入学者数を確保するために生徒募集活動を強化する～

I 専願入学者増を目的とする募集体制の確立

II 受験者のニーズに合わせた入試制度改革

### 6. 職員の資質向上

～研修制度を充実させ職員の資質向上を図る～

I 年次別研修の充実

II テーマ別研修の充実

### 7. 安定した財政基盤の確立

～中長期的な学校財政基盤を強化する～

I 健全財政の維持，学校教育予算の拡充

# 鹿児島修学館中学校・高等学校

## 基本目標

## 基本的視点

## 基本理念

中高一貫校として円滑な「中高接続」と確実かつ満足する「出口保証」

- ・修学館中学校では、生徒一人ひとりの学力向上に努め、円滑な中高接続への取り組みをさらに強化する。
- ・修学館高校では、生徒一人ひとりの歩幅に応じた徹底した学習指導を行い、それぞれの進路実現に向けた確かな学力を養成する。
- ・2020年度の大学入試改革を踏まえ、高い思考力と豊かな表現力などを育むために、教育課程や教育活動をしっかり検証し、教職員一人ひとりの指導法、資質向上を図る。
- ・生徒一人ひとりの社会人基礎力を養成し、学校行事等あらゆる機会を通して生徒会の活性化により一層取り組むことで、生き生きとした充実した学校生活を送れることを目指す。

1. 一人ひとりの目標に応じた進路実現  
～生徒理解に努め、個々が満足する進路を実現させるために～

I 教員間の共通理解に基づく組織的な学習指導

II キャリア教育の充実

2. 教職員の指導法の改善と資質の向上  
～主体的に学ぶ力を育てる授業を構築するために～

I ICT教育, ALの研究と実践

II 社会の変化に対応できる力の養成

3. 円滑な教育課程の再編と教育活動の効率化  
～大学入試改革への対応のために～

I 6か年を見通した教育課程の再編

II 各学年の教育活動を見据えた年間計画の再編

4. 社会人基礎力の養成  
～社会で活躍できる人材育成のために～

I 集団活動等を通してのモラルの形成

II ボランティア活動への積極的な参加

5. 生徒会のさらなる活性化  
～より積極的な生徒会活動を行うために～

I 学校行事運営への積極的な取り組み

II 自主的な生徒会活動への取り組み

6. より効果的な生徒募集・広報活動の推進  
～修学館の魅力を浸透させるために～

I ホスピタリティ溢れるイベントの開催

II 地域に愛される学校を目指した広報活動

7. 健全な財政基盤の確立  
～財政の健全性を維持していくために～

I 財政の健全化

# 鹿児島幼稚園

